

横川地域学校園

宇都宮市立横川中学校
宇都宮市立横川中央小学校
宇都宮市立横川東小学校

地元「横川っぺ」の野菜を紹介します

横川地区では、「横川っぺ」という生産者団体があり、給食にも野菜の提供の協力をお願いしています。夏休みに、横川っぺの生産者の畑に見学に行かせていただいたときの様子です。



横川っぺの戸崎さんが育てているねぎです。9月出荷予定のねぎは、5月から育てています。ねぎは芽が出て成長すると白い部分が土から顔を出します。白い部分が出てきたら、出てきたところに土をかぶせます。これを「土寄せ」といいます。土に埋まっているところが、ねぎの白いところになります。出荷までにこの土寄せを3回行うそうです。



横川っぺの鈴木さんが育てているにんじんは「恋うさぎ」という品種のにんじんです。うさぎが恋をしてしまうほどおいしく、味が濃いうという特徴が「恋うさぎ」の名前の由来だそうです。普段私たちはにんじんの根の部分を食べることがほとんどですが、にんじんの葉を食べたとはありますか。にんじんの葉は栄養価が高く、料理では天ぷらにしたり、きざんでひき肉と甘辛く炒めて食べるとおいしいそうです。



横川中央小学校

地域の方の作った「ヤーコン」を五目きんぴらに入れて作りました。ヤーコンは見た目はさつまいものようですが、アンデス高原原産の根菜です。シャキシャキとした食感で、とてもおいしいです。



横川東小学校

地域の方の作った「キャッサバ」を出しました。熱帯性植物で和名はイモノキ（芋の木）。この植物の根茎部分を食用とします。厚い皮をむいて、茹でてから揚げました。ほくほくしておいしかったです。



横川中学校

地域の方の作った「にんじん」「キャベツ」を凍り豆腐と野菜の炒め物に入れて作りました。このほかにも、はくさいやねぎなど季節の野菜を取り入れています。



宮っ子ランチ

秋の宮っ子ランチです。船頭鍋の食材の「さといも」「ねぎ」「にんじん」は地元横川地区産。米、にっこりは宇都宮産です。

